

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立石田小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の違いを理解している。 必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる。 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 物語の全体像を捉えて、表現の効果を考えること。 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。 加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、ほかの場合の数の求め方と答えを記述することができる。 図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 百分率で表された割合を分数で表すこと。 表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めること。 示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物について、提示された情報を分析して、自分の考えをもつことができる。 物質に関する観察、実験の知識・技能がおおむね身につけている。 エネルギーに関して、科学的な考えへの検討・改善や実験で得た結果の分析・解釈をすることがおおむねできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 昆虫の体のつくりを理解すること。 自然の事象・現象について、比較しながら調べたり、観察、実験を通して理解すること。 観察、実験などの方法を見通すことなどを意識しながら分析して、解釈すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う児童が多い。 学校に行くのは楽しいと思っている児童が多い。 人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。 国語や算数、理科の授業の内容がよく分かると解答している児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 本や新聞などで活字に触れる機会が少ない児童が多い。 地域の行事に参加したり、地域の大人に勉強やスポーツを教わったり遊んでもらったりする機会が少ない児童が多い。 放課後や週末などに、学習している時間が県や全国と比較するとやや少なく、家でテレビや動画、ゲームやSNSを利用している児童が多い。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 比喩や反復などの表現の工夫に着目して読み、表現が読み手に与える効果について考える活動を取り入れていく。 児童同士、互いの書いた文章を読み合い、具体的に感想や意見を伝えて共有し合う場面を設定していく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常の場面に对应させながら割合について理解できるようにしていく。 具体物を用いて、図形の性質を見付けたり、言葉で説明したりできるようにしていく。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返し観察したり、他者に説明したりする活動を取り入れていく。 児童同士が話し合う中で、差異点や共通点を捉え、新たな問題も見いだしていくような場面を設定していく。 根拠ある予想や他者の考えから、実験の結果を見通した解決の方法を発想しながら観察、実験などを行っていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<p>「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」と答える児童が多いことから、前向きに人や社会と関わりたいと思っている児童が多いようです。しかし、地域の行事に参加したり、地域の大人に勉強やスポーツを教わったり遊んでもらったりする機会が少ないと答えている児童が多いので、地域の活動に参加できるよう促すことで、地域との関わりを育んでいけたらと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後や週末などに、習い事を含めた学習時間がやや少なく、家でテレビや動画、ゲームやSNSを長時間利用している児童が多いようです。ご家庭で今一度端末機器の使用時間や時間の使い方について話し合っただければと思います。 本や新聞に触れる機会がやや少ないようです。児童が読書に興味を持てるよう子どもたちの日常の興味関心から、それに関連する本を薦めたり、短い時間でよいので、毎日、家庭で一緒に読書をしたりするなど、読書することの面白さを経験させるようにしましょう。
--